

# はじめの一步③

8月27日(水) ~ 8月28日(木)

IN 西宮市立甲山自然の家

	午前	午後	夜
1日目	施設まで登山	川遊び	キャンプファイア
2日目	清掃、野外炊飯	下山	

一日目： 最高のキャンプ日和の中、キャンプが始まりました。仁川で全員集合した後、はじめの一步名物、甲山までの大行進が始まりました。重たい荷物を必死に持ち、列が途切れないよう一生懸命歩いておられました。そこに容赦ない太陽の照り付けが追い打ちをかけ、みんなの体力をみるみる奪っていきました。その時こそ、「はじめの〜？」と聞くと、元気良く「いっぽー！！」と声を出されていました。暑い中でも頑張ってお進み、森林公園に到着しました。各グループでお弁当を食べると、疲れ切っていた顔も元気を取り戻し、食べ終わった後、走り回って遊んでおられました。昼食後、施設に向かい、川遊びの準備を行いました。みんなで声をかけ、必要なものや、服装など確認し合っている姿がありました。全員で川へ向かい、楽しみの川遊びが始まりました。川の中で水をかけあったり、カニを見つける事に専念したり、泳いだり、滝に打たれて修行をしたり、グループごとに思いのまま楽しんでおられました。寒いと言うと、みんなで休憩し、川に入りたくない友達がいると、川岸で遊び始め、グループの意識が芽生えているようでした。川遊びが終わり、施設に入室しました。やっと一息つけたかと思いきや、部屋でもお話したり、手遊びしたり、楽しんでおられました。夕食も楽しく食べられ、そして待ちに待ったキャンプファイアです。少し時間は短くなりましたが、一人一人が心から楽しんでいるのを感じることができました。声を精一杯出し、汗を沢山流されていました。部屋に戻ると、自然と眠気がやってきて、あっという間に眠られました。明日は、野外炊飯があります。美味しいカレーが作れるか楽しみです。



二日目： 朝からドタバタと着替え、洗面、荷物整理と部屋の掃除と大忙しでした。それでも、皆は元気に一つ一つ丁寧に進み、スムーズに進みました。朝食を挟み、再び施設の清掃を行いました。自分達が寝た部屋以外の共有スペースも清掃しました。清掃が終わると野外炊飯の器材を運ぶお手伝いをしてもらいました。天候は少し怪しく小雨でしたが、重たい器材を一生懸命に運んでおられました。清掃も終わり、全員が揃ったので皆が待ち望んでいた野外炊飯を行いました。カレー作りですが、初めて料理をするメンバーもいれば、火おこしが初めて、野外炊飯が初めてと、はじめの一步が沢山おられました。その中で行程を分担し、一人一人が全力で取り組んでおられました。皆で『協力』することで順調に美味しいカレーを作ることができました。カレーとご飯がテーブルに運ばれ、フタが空いた時、「おおー！！」という大歓声が湧き上がっていました。どのグループも完食し、キレイに食べ終わると、後片付けの時間です。真っ黒になった鍋、ご飯が付いている飯盒、カレーまみれの皿にスプーンと洗い物が沢山ありますが、「借りた時よりも美しく」を目標に、黙々と真剣に洗い物をされていました。かまどの片付けも灰一つ残さないよう掃除をされていました。施設の方からも褒められるほど、キレイにピカピカにして返しました。こうして、あっという間に時間は過ぎ去り、施設を出発する時間になりました。ここに到着した時より、凜々しくなっている姿がとても素敵でした。帰りはお互いに声を掛け合い、注意しあって進みました。解散の時、「早く他のキャンプに行きたい！！」と既に次の一步を望む声がありました。次回、皆さんにお会いできる時を心よりお待ちしております。その時まで、まったねえ〜！！



## <キャンプ総括>

毎年行っている「はじめの一步」は共通して、参加者は初めてキャンプに来られる方が大半で、右も左も分からず、キャンプに流され、気が付けば終わっている。それが、我々が認識している「はじめの一步」です。しかし、今回は雰囲気や全く異なっており、メンバー一人一人が手際よく動き、いつものドタバタ感がありませんでした。振り返るといくつか要因があります。その中で最も影響の大きいと思われるのが、『経験者が多かった』事です。キャンプの流れを知っているからこそ、無理に逆らわず、流れにのって楽しんでおられたからだと考えられます。しかし、参加者のうち半数以上は初参加なのに？と考えたところ、キャンプ中の場面を思い出すと、キャンプ経験者が初参加のグループメンバーを引っ張っていた光景が幾つもありました。その中には二回目参加なのに、一生懸命みんなを誘導されていました。初めてと二回目でもこうも違い、おそらくそれはご本人も感じていると思います。はじめの一步としてここからスタートし、今回のように二歩目を歩んで頂ければ幸いです。是非ともその二歩目を冬のキャンプに踏んで頂きたいです。 (竹中 哲郎)